



田野 香織

いながわ 特派員報告



山本 のゆり



若者たちの無限への挑戦 ～ SWING-BY ～

8月31日、町文化体育館大ホール（イナホール）で、若者たちの音楽祭「SWING-BY」が開催されました。

この日の様子と、ここにたどり着くまでの「SWING-BY」プロジェクトの全貌を紹介します。

これまでの軌跡

町青少年健全育成推進会議では、これまでに「TEENS' MUSIC FESTIVAL」など、若者たちの音楽祭を毎年夏に開催してきました。

しかし、活動を進める中で、「若者は出演するだけでよいのか？」「せっかくなら企画・運営から自分たちでやってみては」といった声があがりました。

平成22年より「BEAT!!」と名を改め、3年間活動。出演する若者たち自らが企画から携わり、大人と一緒にこれまでの基礎をつくりあげてきました。

「SWING-BY」始動！

今年は、猪名川高校軽音同好会の生徒を新しい正副実行委員長に迎え、「SWING-BY」として活動がスタート。「BEAT!!」でつちかったノウハウ

を引き継ぎながら、「無限への挑戦」をテーマとして新たな取り組みが始まりました。

「SWING-BY」のスタッフは、8月1日からの1カ月間を重点的に、音楽活動に限らず町を盛り上げるための様々な地域活動に挑戦。この挑戦はテーマの通り、今後も無限に広がっていきます。

「SWING-BY」プロジェクト

～ これまでの活動報告 ～

◇青少年健全育成キャンペーンへ参加

毎月10日の「少年を守る日」に合わせ、7月10日に日生中央駅周辺で、猪名川高校の生徒や大学生など「SWING-BY」のスタッフ約30人と、警察・防犯協会の関係者が参加し、青少年の飲酒・喫煙防止を呼びかけました。また駅周辺の飲食店などにも啓発活動への協力をお願いしました。



◇ほたるの夕べ・日生夏祭りへ参加

6月8日にふるさと館周辺で開催された「ほたるの夕べ」では、ミニコンサートに出演。模擬店で販売したワッフルなどすべて完売しました。

また、7月27日は日生中央駅周辺で今年33回目を迎える日生夏祭りが開催され、ステージの準備から後片付けまで、終日汗を流しました。

祭りではたこせんやフランクフルトを販売し、ステージでは弾き語りの演奏を披露しました。売りあげで得た収入で、スタッフTシャツやのぼりを制作することもできました。



◇早朝の清掃活動

8月中の火・水・金、朝7時30分からの約1時間、日生中央駅周辺の清掃活動を実施。清掃だけでなく、地域の皆さんへのあいさつ、「SWING-BY」のチラシ配布、宣伝も大事な活動です。「頑張ってるね！」「ご苦労さま」と温かく応援してくださる人もいました。



◇若葉サマーフェスティバル準備！ところが…

夏休み後半の8月24日、子どもたちも楽しみにしていた若葉地区のサマーフェスティバル。この日に向けて大原公園では、炎天下、ちょうちんやテントの準備が行われていました。

例年の顔ぶれは地域住民だけですが、今年は「SWING-BY」のスタッフも一緒です。

ところが・・・悪天候のため、今年のサマーフェスティバルは中止となりました。

「猛暑の中、子ども達は文句ひとつ言わずに黙々と手伝ってくれてね。今年の準備は子ども達が来てくれたおかげで、いつもと違う活気があった。サマーフェスティバル当日は、宣伝も兼ねてステージにあがってもらう予定だったのに、残念だったなあ」と準備に参加された山田さんは話されました。

「SWING-BY」ステージイベント！

8月31日、町文化体育館大ホール（イナホール）で、「SWING-BY」の集大成とも言えるステージがついに開催。バンド演奏やダンスなど7グループが出演し、会場は熱気に包まれました。

エンディングは出演者全員で、斉藤和義さんの「歩いて帰ろう」を熱唱。拍手喝采の中に「SWING-BY」は感動の幕を閉じました。



出演グループのステージを観て

M's dance Street 子どもたちの迫力あるストリートダンスで会場は盛り上がりました。

Novelman 京都を中心にライブ活動中の大学生。はっきり言ってプロフェッショナルです！カホン（打楽器）を演奏する中山さんはこれまでの3年間実行委員長としても活躍、今回引き継ぎの時を迎えました。「最後により演奏ができてよかった。ボクは今回で最後ですが、次に繋ぐことができていると思います。SWING-BYはこれからも地域と一緒に活動を広げていって欲しいと思います」

松尾台小学校軽音楽クラブ J-ポップ・ロックを中心に演奏。夏休みはたくさん練習しました！「胸がドキドキしたけれど、ステージが終わってホッとしました」

コトノハ 猪名川高校軽音同好会の男子が中心のグループ。今回より実行委員長の岡村さんは「今日までいろんな試練がありましたが、みんなで繋いでいきましょう！ありがとうございました」と、「SWING-BY」にかかわる全ての人に感謝の言葉を述べました。

Tempest 猪名川高校軽音同好会の女子グループ。「いろんな活動で実績を残し、軽音同好会を軽音楽部にしたい」と熱く語ってくれました。

Seleman バンド初めての女子3人組です。

少年カラー 大阪で活動している4人組ロックバンドです。

～ 編集後記 ～

私たち特派員、今回が初めての「SWING-BY」でした。

猪名川の若者たち、こんなに頑張っているんだ、熱いモノ持っているんだ。じんわり胸が熱くなった夏の終わりでした。出逢えたことに感謝です。



黄金の稲穂を収穫

▲町内で稲の刈り取りが行われ、道の駅いながわでは、9月下旬から猪名川町産の新米が発売されています。産業観光課によると町の稲の作付面積は約197haで、主な作付銘柄は、「コシヒカリ」「キヌヒカリ」などです。

英語スピーチコンテスト

▼9月1日、社会福祉会館で第22回英語スピーチコンテストが開催されました。町内の中学生67人、町内在学の高校生7人が参加し、発音やイントネーションに気をつかい、身振り手振りを交えながら、日頃の学習の成果を競い合いました。
※高校生の部の優勝・準優勝者は、来春、姉妹都市バララット市へ、約2週間のホームステイに派遣されます。



派遣団が姉妹都市で交流

▲▶8月13～21日まで、町立中学2年生9人と引率教職員2人が姉妹都市バララット市に滞在し、現地の人々と交流を深めました。



今回の訪問では、バララット市の小学校を3校訪問し、沖縄の伝統芸能である「エイサー（写真上）」や「ももたろう」の紙芝居、英語や日本語の歌を披露しました。また、県立猪名川高校の姉妹校の「マウントクリア高校」を訪問し、日本語授業に参加して、現地の生徒と会話をするなど見聞を広めました。

文化月間の先陣を切り「町展」を開催！



◀9月20日、文化体育館において本年度の文化月間がスタートしました。この日から10月24日までの期間中は、文化協会が中心となり趣向を凝らしたイベントや展示会を開催し、様々な芸術文化にふれていただける機会を設けています。

その先陣を切った第13回「町展」では、186人・250点の作品の中から厳正なる審査により選ばれた151点の作品が展示されています。猪名川町在住の高校生、野中萌花さんが絵画部門で教育長賞を獲得し快挙を見せるなど、作品のレベルアップが観賞する人の目を楽しませる充実した美術展となりました。

小学生がミニトライアスロンに挑戦

▼▶8月28日、猪名川小学校で第4回夏休みミニトライアスロン大会が開催されました。当日は、約160人の小学生が集まり、過去3回のオリンピックに出場した田山寛豪選手や世界大会で活躍した杉本宏樹選手の見本演技を見た後、指導を受けながら、ミニトライアスロンに挑戦！暑さをもるともせず、一生懸命泳いで・こいで・走って、全員がリタイアせずに、最後まで競技することができました。



写真中央左から田山選手・杉本選手

高齢者に長寿のお祝い



▲小倉 春さん



▲前西 はるゑさん



▲鳥山 あさゑさん

◀◀敬老月間中の9月6日、福田町長が今年100歳を迎えられたみなさんを訪問し、賞状の贈呈と長寿のお祝いの言葉を贈りました。

▶9月14日、文化体育館で敬老会が開催され、高齢者表彰などの式典のあと、漫才やものまね歌謡ショーに加え、老人クラブ同好会などの新舞踊や詩吟、六瀬・猪名川中学校吹奏楽部の合同演奏を楽しみました。

救急フェアでAEDを体験

▼9月8日、イオンモール猪名川で「救急フェア」が開催され、来店者が心肺蘇生法やAEDの使い方を体験し、救急クイズコーナーでは、多くの小学生が救急に関する正しい知識を学びました。



敬老会を楽しみました

